

イチゴ「ベリーツ（大分6号）」のセルトレイ親株管理を基本とした 5月鉢上げの対応技術

農業研究部

1. 研究の背景

イチゴの親株は、本圃で発生したランナーを秋にセルトレイに挿し、3～4月にポットに鉢上げを行うことが多いが、本圃の出荷調整作業と競合する。そこで、本圃作業との分業化を目的に、セルトレイ親株の鉢上げを5月に遅らせた場合、7月上旬に一斉に採苗するための、必要親株数を検討した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・128穴セルトレイと72穴セルトレイにおいて、鉢上げ前の親株の苗質に差はなく、15cmポット1株植えおよび18cmポット2株植えの7月10日の株あたり採苗数は同等であった（表1）。
- ・5月上旬に鉢上げを行う場合の必要親株数が推計された（表1）。

表1 ランナー・子苗の発生状況（2019）

鉢上げ 時期	セル サイズ	鉢上げ 方法	ランナー数		合計子苗数 (個/株)	うち 1.5～3.0枚子苗数
			6/20 (本/株)	7/10 (本/株)		
4月上旬	72穴	18cm 2株	7.1	8.6	17.6	13.9
		15cm 1株	7.1	8.6	20.1	14.1
5月上旬	128穴	18cm 2株	3.5	6.1	6.6	5.8
		72穴 15cm 1株	3.5	6.3	6.6	6.1

注1) 7月10日時点のデータ

(例) 7月10日に1.5～3.0枚子苗を8,500株以上確保するための必要親株数

5月上旬鉢上げの場合、
7月10日時点の18cmポット2株植えの1.5～3.0枚子葉数は株あたり5.8個なので、

$$8,500 \div 5.8 \approx 1,465 \text{ 株}$$

$$1,465 \div 128 \approx 11.4 \text{ 枚}$$

→ 128穴セルトレイ12枚分の親株が必要

3. 期待される効果

128穴セルトレイ12枚分の親株を、18cmポット2株植えで5月上旬に鉢上げすることにより、約8,900株（7,000株/10a換算で2.7割増し）の子苗が確保でき、4月の出荷調整作業と競合することなく育苗管理ができる。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 果菜類チーム
TEL : 0974-28-2081
住所 : 豊後大野市三重町赤嶺2328-8